

ご連絡

2020年4月24日

大学病院・医学部・歯学部・薬学部・医療系学部  
ご担当者様

一般社団法人マイインフォームド・コンセント (MIC)

理事長 佐伯晴子

## 2020年度の模擬患者派遣活動休止のお知らせとお詫び

謹啓

平素はお世話になり厚くお礼申し上げます。

新緑が眩しく本来なら心躍る季節ですが、今年は閉塞感と不安で押し潰されそうな毎日になりました。毎年の実習や試験ではお引き立てくださりありがとうございます。少しでも患者の立場から期待や感謝をお伝えし、厳しい医療現場での仕事に希望をもって進んでいただければと願って活動を続けてまいりました。しかし、今年3月以降の事態については予想を超えて途方に暮れるばかりでございます。

私ども MIC の模擬患者メンバーは、定年退職後などの時間的余裕と、自身や家族の患者経験が活動参加の契機になっているため、通常の活動中でも病気再発や新たな罹患あるいは家族の介護で急に参加を取り止めざるを得ないことがございます。とりわけ昨年は故障者が増え、多くの実習や試験でご迷惑をおかけしました。改めてお詫びを申し上げます。

そのような身体的、社会的な制限を抱えて互いに助け合ってまいりましたが、今回の感染症については、終息はもちろんですが、事態の収束が見えず、いつ感染するかと怯えております。治療中で免疫力が低下しているメンバー本人や家族など、易感染者の私どもが、医療機関附属の学部に入出入りすることで、ウイルスを持ち込む危険性はかなり高く、また、道中で持ち帰る可能性も否定できません。日常生活の範囲では僅かなリスクが、実習や試験に参加することで計り知れない大きさになり得ます。特に今年度夏以降はスケジュールが密になりますので、新たなクラスターを作りかねないと考えております。もちろんこの事態は何があっても避けねばなりません。万一そうなりました際には、私どもには皆様におかけしたご迷惑を具体的にお詫びする方途も蓄えもございません。

そこで、愚考を重ねてまいりました結果、まことに勝手ではございますが、今年度については、すでにご予約いただきました実習や試験も含めて、すべての模擬患者派遣活動を休止させていただきたいと存じます。首都圏は今後も第2波、第3波が続き、数年は元の生活に戻れないかも知れませんが、少なくとも来年春までは、新たな感染を作らないために、模擬患者派遣活動を自粛致したく、ご理解のほどをお願い申し上げます。多大なるご不便とご迷惑をおかけし、心から深くお詫び申し上げます。

当会は今年度の模擬患者活動休止を経て事業の存続は不確かです。ただ、オンライン診療など新しい方法での患者さんとの情報共有、専門家からの説明の改善、正しい健康情報提供など、当会が関わることで、患者さんや一般の方の理解や納得が進み、医療への信頼づくりに貢献できるのではないかと考えております。またお目にかかれることを信じて、どうか、くれぐれもお大切にお過ごしくださいませ。

謹白